

21 ヒメヌマエビ

(ヌマエビ科)

兵庫県ランク:A

Caridina serratirostris

環境省ランク:指定なし

種の概要

本州中部以南に分布するが、本州から九州までの産地は散見的で、生息数もそう多くない。一方、南西諸島では普通種となり多産する。体長20mm程度の小型種で、体型はやや太く短い。額角は水平に伸び、上下縁に微細な鋸歯が配列し、上側歯は頭胸甲の背中側に達する。模様には、背中に太い白縦筋が入るものと、体に横縞が入る2型がある。体色は赤褐色、紫褐色、茶色、緑黒色、黒褐色など変異が多い。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
	○		△	○			△

県内分布

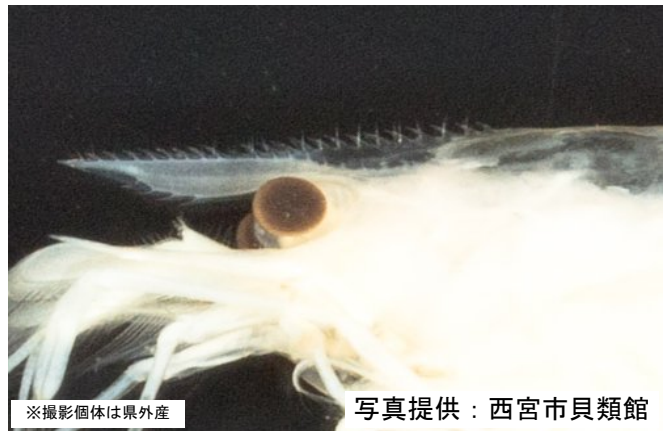
豊岡市、香美町、新温泉町、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。但馬及び淡路島でのみ確認されている。極小河川の下流にある流れの緩やかな場所で確認されている。

保護上の留意点

幸いにも洲本市由良から南あわじ市灘の南岸以外の小・極小河川は自然景観のまま残っている川もあり、本種以外の回遊性のエビ類やハゼ類の貴重な生息地ともなっている。黒潮の影響がある河川に遡上、生息すると考えられるので、このエリアの小河川の保全に勤めるべきである。



【執筆者】 渡部哲也